

九月定例市議会（第二四一回議会定例会）が、九月十日から二十一日まで開かれました。一般質問では、竹内、福田、山本（弘）、今西、中村、池本、山崎各議員が質問に立ち、執行部の考えをただしました。その主な内容は次のとおりです。

■ 工科大学の設置についての市長の考えは、

■ 実現に向けては困難な条件があるが、工業大学の設置を望んで一人である。二十一世紀に向けた高知県にとって大きなプロジェクトでしかも南国市にかかわりあいをもつ拠点都市地域で進められる波及効果を考えて、大いに関心を持って真剣な検討をしていきたいと考える。

■ 岩沼市との姉妹都市交流事業について、

■ 二十周年記念は、市あげての、また親善協会をはじめ青年・婦人グループなどのいろいろな発想で、自身の思いそして新しい取り組みの姉妹都市提携が生まれたと感じる。この口身を官民一体で深めていきたい。記念誌を作ることは賛成。二十周年を節目に意義あることだ。来年度は資料の収集・内容について、両市で検討していきたい。

■ オフィスアルオディア構想について、当初計画より縮小された点とB・C地区の進捗状況はどうか。

■ A地区は、当初十割を予定していたが、土地取得の過程のなかで現在九割に縮小。B地区は八割を予定していたが、測量司数を増やして二倍の測量同意を得ている。A・B・C地区合わせておおよそ二十割で地域振興整備公園、国と協議中である。B・C地区の進捗状況については一筆測量を実施する方向で地元の協力を得ている。今後はこの測量と並行して開地同意を得るべく鋭意努力していく。

■ 女性の地位向上について、

■ 今までの市政における取り組みの中では、特に市の幹部・担当の中で、できるだけ女性の目から見た運営に心がけてきた。今後そのような方向でいきたい。地域での女性の

声や推進協議会などでの女性の意見をとり上げていくことも大きな課題と考える。

■ 女性問題に関する担当係の要望については、単独の係でなくても窓口を明確に位置づけることが必要だと考える。

■ 空港問題について、地権者との協議の進捗状況は、

■ 高知空港再拡張事業の実施に関する基本的な同意に基づいて、地元協議会・県・市の間で具体化に向けての取り組みを進めている。地権者の賛成対策については代替地の掘り起こしを、ほ場整備の実施にあたっては事前の調査、権利関係あるいは地形図の作成などを行っている。一筆測量についても協議が整い、本月二十日ごろから測量に入る。



七月二十日、高知―高松間を結ぶ高速バス「黒潮エクスプレス号」の専用停留所が、高速道路南国インター入り口の近くに増設されました。



■ 岡山行き高速バスの南国市での乗降について、

■ 高松行きバスが、ふれあい広場南国で停車することになり、市民の好評を得ているが、岡山となると、他の交通機関との接続や、乗降客へのサービス機能など検討する課題があるため、利用者の声も聞きながら関係機関と折衝をしていきたい。

九月二十日、田村地区で一筆測量（用地交渉の資料となる丈量測量）が開始された。測量は約1か月を予定。同地区内の約四十五戸が対象。

九月定例

■ 「道の駅」について、どのような位置づけがされているか。

■ 土佐街道「道の駅」が県内七か所に選定され、南国市はふれあい広場南国（県所有地）がその指定を受け、市長が署長となっている。駅ができてからの運営や広場での



行事などは市民の協力で成果をあげている。単に高速道路の出入口ではなく、南国市の睡の玄関として位置づけをし、そこに立ち寄る人々と地域のふれあいの場として県にも積極的に働きかけ、その整備に取り組んでいきたい。

「道の駅」とは、地域とともにつくる個性豊かなふれあいの場として設置されたもの。地域振興施設と休憩施設を複合化したもので、

■ パーキング・トイレ・案内所・電話などの基本的な設備に加え、地域の歴史・文化の情報提供も行い、また景観計画に利用者にとらぎを与え、気分転換やリラックサスできるものとされている。

■ 学校週五日制について、第二土曜日休校がスタートして



■ ようやく一年。子どもたちの社会体験・自然体験の時間を増やし、主体性を高めること、そして子どもを家庭に返し、家庭・地域での生活をするということを実施してきた。幼稚園・小学校一・四・六年生、

■ 中学校二年生の保護者対象のアンケート調査によると、子どもたちは遊び・家事手伝い・地域でのことも会活動・クラブ活動に参加などさまざまな過ごし方をしている。

■ 完全週五日制実施は七年度以降とされているが、今後の本市における五日制については児童・生徒の健全育成、学校開放の体制づくりなどに適切に対応するために、学校別推進組織づくりを進めている。

可決された主な議案

■ 平成五年度一般会計補正予算
補正予算の規模は、八億七千四百七十六万四千円、基金への積立金並びに特別会計への繰入金、市道・農道の維持補修費及び改良事業費、ほ場整備のための調査事業費並びに計画事業のうち国・県の内示のあったものの計上が主なものである。

■ その所要一般財源は六億五千四百二十四万四千円、これは市税二億二千八百九十九万九千円、地方交付税三億千六百九十八万九千円とふるさとづくり基金五千四百五十万二千円、地域福祉基金百七十四万八千円、高速道路周辺整備基金五千三百万円をそれぞれ取り崩して補正財源とした。

■ 平成五年度下水道事業特別会計補正予算

■ 都市計画決定により下水道の認可区域の拡大を早期に行なうための図書作成費として、下水道施設費の委託料二百五十万円の増額補正であり、下水道施設費は三億四千六百五十四万四千円となり、下水道事業費は七億九千六百二十六万四千円となる。

■ また、歳入については、一般会計繰入金二億七千七百七十二万六千円が二百五十万円増の二億八千二百二十六万六千円になる。

■ 平成五年度国民健康保険特別会計補正予算

■ 補正予算の総額は、八千五百九十七万七千円。内訳は地方交付に算入される国民健康保険安定化支援事業費の確定による一般会計から繰入金六千八百四十九万三千円と、平成四年度決算に伴う繰越金の一部千七百四十七万八千円を歳入として計上し、歳出で保険給付費六千八百四十九万三千円及び平成四年度退職者医療費交付金の精算に伴う償還金千七百四十七万八千円をそれぞれ計上するもの。

■ 南国市成合簡易給水施設設置条例

■ 成合地区の簡易給水施設については、南国市を事業主体として市が設置したものである。本施設の管理については、地元で設立した公共的団体の成合水道組合と管理委託契約を締結するにあたり、条例を制定するものである。

天皇、皇后両陛下

十一月八日ご来高

天皇、皇后両陛下が十一月八日から十日までの三日間、地方事情視察のため来高されます。

天皇、皇后両陛下は、十一月七日に愛媛県伊予市で開かれる「第十二回全国豊かな海づくり大会」に臨席。

その後、高知入りし、南国・高知両市の各施設を視察されます。

八日の午後は、南国市保健福祉センターを視察。

九日は、午前中に県庁と総合老人福祉施設視察、午後はサンビシア高知で昼食の後、ちばさんセンターと県立美術館を視察。

十日は、午前中に県立歴史民俗資料館、午後は、県農業技術センターを視察、高知空港発の全日空特別機で離高されます。

南国市における奉迎の場所や時間は、十一月、旬には発表される予定。

※お問い合わせは総務課総務係（南国市役所内線491）まで

第7回 識字学校・集会所文化祭

「明日死ぬかも知れないけれど、今日、一字覚えたい！」

とき 11月6日(土) 午前9時～午後5時
11月7日(日) 午前9時～午後4時

ところ 南国市立長岡西部体育館 (53) 4 5 5 9



展示部門

生け花、書道、手芸、保育・小・中学生の作品ほか



舞台部門

舞踊・詩吟・民謡、大正琴ほか

催しもの ① 保育所年長児による催し
② 解放劇 小・中学校解放子ども会、土佐清水市サークル「あすなろ」

主催 識字学級・集会所文化祭実行委員会・南国市教育委員会
後援 南国市同和教育研究協議会・野中地区・前浜地区・東崎西部地区

育児は育自の 育児は育自の 父性を探る時代がきた

南国市家庭教育学級専任講師

竹内基二枝



ある講演会場で、知り合いの若い男性に会いました。生後六か月になるという乳児をおぶつての参加なのです。

「アラリーおくさまもこ」緒？」

「いやあ、今日は、ママは自由デーですよ。家事、育児は僕の当番だから、どこへ行くのも子連れ狼です。アハハハハ」

当番制というのは「ラーン」といささが考えさせられました。日ごろから子育てに熱心な彼のことです。子供の発達過程の中で、大脳への刷りこみ時期である三歳までに、父親像をしっかりインプリントしておこう、というのだからと、その意欲ににおおいに感服しました。

平成六年度より、高校の家庭科が、いよいよ男子も必修となり「乳幼児期と親の役割」、「家庭と家庭生活」、「食生活の設計と調理」等家庭生活に必要な基本的知識と技術の習得が組みこまれるようになりました。又、現在の社会の風潮も、「父親は、もっと積極的に、子育てに参加しなければいけない。」との意見が高まっています。

おやじの出番は「父権」を行使する時だけではなく、家庭の中で「父性」をどう輝かせるか、男女共に真剣に考える時代が急速に近づきつつあるようです。

〔社会教育課〕